

AIオンデマンド交通の実証実験による交通基礎データの収集について

1 目的

現在、いわゆる「2024年問題^{*}」が全国的に顕在化しており、今後は、少子高齢化に伴い、交通事業を担う人材の更なる不足が懸念される。

そこで、持続可能な地域公共交通のあり方について検討するため、AIオンデマンド交通の実証実験により、地域課題やニーズを捉える交通基礎データの収集を行う。

2 実施概要

(1) 内容

AIオンデマンド交通（乗降ポイント方式）の実証実験により、利用者の乗降データを取得し、地域における移動需要を把握する。

※AIオンデマンド交通イメージは、別添・図1のとおり

(2) 対象エリア

言問通り以北エリア

※詳細は、別添・図2のとおり

(3) 運行期間

令和6年10月～令和7年3月

(4) 運行時間

午前7時～午後10時（予定）

※詳細は、今後、運行事業者等と協議

(5) 運行台数

2～3台

(6) 乗降ポイント数

50～60か所程度

(7) その他

運賃や乗降ポイントの設定等は、今後、関係機関等と協議

※2024年問題

…「働き方改革関連法」により、2024年4月から、自動車運転者の労働時間等の規制が強化されることにより生じる、輸送能力低下等の問題。

3 補正予算額（案）

歳入 29,223千円

歳出 77,151千円

4 今後の予定

| | | |
|------|-------|--|
| 令和6年 | 7月～9月 | 運行事業者選定、乗降ポイント設定 対象エリア町会及び関係機関等へ説明 地域公共交通会議に報告 |
| | 10月～ | 実証実験 |

【図1】AIオンデマンド交通（乗降ポイント方式）イメージ

決められたエリア内の予め設定されたポイントで乗降する相乗り交通。
AIを使って最適なルートで運行。



- 利用方法
- ① 利用者は、予め会員登録をする（原則）。
 - ② 専用アプリや電話で予約（利用日時、乗降ポイント等）をする。
 - ③ 予約日時に乗車ポイントで乗車、降車ポイントで降車。
類似ルートで他予約者がいる場合、当該乗降ポイントを経由した相乗りとなる。
- ※ 決められた運行ルートではなく、その他利用者の予約状況に応じて、AIが効率的に配車等する乗合運行のため、乗降時間が流動的となる。

【図2】対象エリア

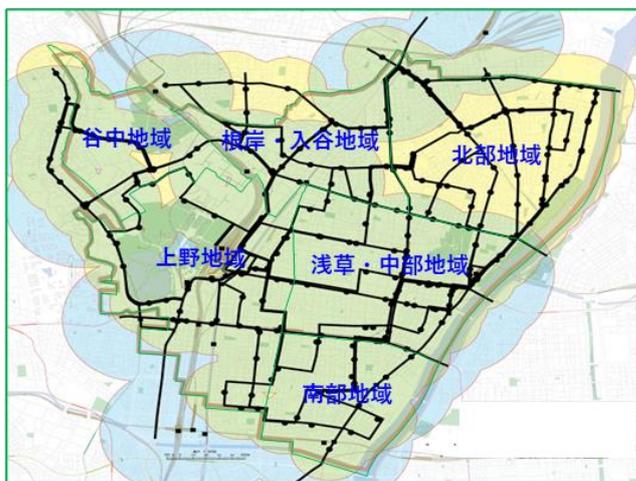


※ 乗降場の設定は、今後の協議事項であるが、自宅や目的地と交通機関を連結させることにより、地域移動総量増加に伴う地域活性化を図る。

- …対象エリア
- …北めぐりん（根岸回り）ルート
- …北めぐりん（浅草回り）ルート
- …都バスルート

台東区都市づくり部白地図使用

【参考図】台東区における鉄道・バス利用圏域



- 鉄道・バス重複利用圏域
- 鉄道利用圏域 半径600m
- バス利用圏域 半径300m

台東区都市づくりのための基礎資料（平成31年3月）及び施設地図情報めぐりん停留所（令和4年4月1日時点）をもとに作成